

1	本単元で目指す児童の姿	非常持ち出しグッズや避難所、避難経路について調べたり、それらを地域に発信する活動に協働して取り組んだりすることを通して、一人一人の行動が町を守ることに繋がることや地域の人々の願いについて理解し、地域の一員として災害から町を守るためにできることを考え、行動しようとしている。	育成を目指す資質・能力	知識及び技能	地域で起こった災害や防災について調べ、一人一人の行動が町を守ることに繋がることが理解できる。
				思考力、判断力、表現力等	情報の特徴をつかんで整理分析し、相手や目的に応じて、効果的に工夫し表現することができる。
				学びに向かう力、人間性等	思いや願いの実現、課題の解決に向けて決めたことに、主体的、計画的に取り組もうとしている。 地域のためにできることを考え、進んで取り組もうとしている。

4 課題発見・解決学習の過程

単元構成（思考のプロセス）		主体的・対話的で深い学びのための指導のポイント
これまでの災害に対する備えを振り返り、課題について見通しをもつ		
振り返り	<p>避難するときに持っていくとよいものを知りたいな。</p> <p>今決めている避難所は安全なのか。</p> <p>まだ安全な避難経路や避難にかかる時間が分からないね。</p> <p>地域の方の声も聞いてみよう。</p>	これまでの防災に対する取り組みや災害に対する備えを振り返って成果や課題を整理し、これからの学習課題を設定させる。
パフォーマンス課題の設定		
課題の設定	非常持ち出しグッズ、安全な避難経路、避難場所について調べる必要があるね。安浦っ子調査団で調査しよう。分かったことは、リーフレットにまとめて地域へ発信し、わたしたちの力で安浦町を災害に負けない町にしよう。	地域の方へアンケートを行い、防災に関してもっと知りたいこと、不安なことなどを聞き、自分たちが行動し発信することの必要感をもたせる。
情報の収集	調査1 非常持ち出しグッズについて調べる	自分ならどんな非常持ち出しグッズを用意するか考えた後、様々なケースで考えさせ、自分とは異なる意見や価値観があることを押さえる。
整理・分析	非常持ち出しグッズの有無や中身について安浦小学校の実態を調査したいな。	
情報の収集	非常持ち出しグッズは色々あるよ。絶対に用意するべきものはどれかな。	
整理・分析	人によって持ち出したものが違うね。様々なケースで調べてみよう。	一人一人に役割をもたせるために、ケースごとにグループに分かれて活動させる。それぞれのケースでの情報を比較する中で、避難に必ず必要なものと、状況に応じて必要なものに分類できることに気付かせる。
まとめ・創造・表現	<p>小さい子どもがいる家庭</p> <p>ペットがいる家庭</p> <p>お年寄りがいる家庭</p> <p>3年前実際に避難した家庭</p> <p>お年寄りだけの家庭</p> <p>誰でも必ず必要なものと、家庭の状況に応じて必要なものがあることが分かったね。</p> <p>整理した情報を基に、非常持ち出しグッズをリーフレットにまとめよう。</p>	国語科「環境問題について報告しよう」で学習したことを生かして、調べたことをどのように伝えたら地域の方に伝わるか、相手意識を明確にしてリーフレットにまとめさせるようにする。
情報の収集	調査2 避難所について調べる	地区ごとに分かれて避難所について調査させ、それぞれの結果を表にまとめて比較することで、避難所によって対応している災害や収容人数等が違うことに気付かせる。
整理・分析	町づくりセンターや、自治会館、消防署の方に収容人数や備品、部屋の数、西日本豪雨災害のときの実際の様子について聞いてみよう。	
まとめ・創造・表現	避難所によって、対応している災害や収容人数などに違いがあることが分かったね。	大雨が降ったときの災害を想定し、1学期に調べたハザードマップと関連付けながら、危険な場所を調査するようにする。
情報の収集	整理した情報を基に、避難所についてリーフレットにまとめよう。	
情報の収集	調査3 避難経路について調べる	タブレットで危険な場所を写真に撮ったり、実際に歩いた時間を計測したりさせ、根拠を基にした「逃げ地図」づくりに取り組ませる。また、地域の方と一緒に取り組むことで、地域社会の一員としての自覚をもって行動できるようにする。
整理・分析	地区ごとの避難所についてアンケートをとって調査しよう。	
まとめ・創造・表現	各地区の危険な場所や避難までにかかる時間を実際に歩いて調査しよう。	
情報の収集	各地区の避難経路やかかる時間について整理しよう。	発表後の地域の方のアンケート結果を受けて、自分のこれまでの取り組みについて成果と課題を整理させ、今後の学習に生かしていくようにする。
まとめ・創造・表現	整理したことを基に、避難経路を「逃げ地図」にまとめよう。	
実行	「逃げ地図」を地域の方に見てもらって意見をもらい、よりよいものに仕上げよう。	
振り返り	調査して分かったことを地域の方に発表する	
振り返り	調査したこと発信して、地域全体で災害から町を守っていききたいな。	
振り返り	これから自分ができそうなことを考える	
振り返り	<p>お年寄りだけの家庭は不安が大きいと思うから、非常持ち出しグッズの中身を一緒に考えてみたいな。</p> <p>各災害に応じた避難所を家族で見直してみるよ。</p> <p>各地区の地域の方と避難経路を実際に歩く避難訓練を行うといいと思うな。</p> <p>町づくりセンターに意見箱を置いていつでも地域の方の声が聞こえるようにしたいな。</p>	

2 パフォーマンス課題

今の防災マップでは避難所の様子や安全な避難経路が分かりませんね。非常持ち出しグッズも何を用意したらよいか地域の方も不安があるみたいです。安浦町を災害に負けない町にするために、非常持ち出しグッズや避難所、避難経路について詳しく調べ、リーフレットにまとめて地域の方に発信しよう。

3 ルーブリック（見直し・改善）

尺度	リーフレットの記述
3	調査を通して分かった防災に関する情報について、地域の方の思いと自分が知り得た知識を結び付けてまとめ、 <b>それらの知識をこれからどのように生かすかを考え</b> 、リーフレットに表現している。
2	調査を通して分かった非常持ち出しグッズや避難所、安全な避難経路について、 <b>地域の方の思いと自分が知り得た知識を結び付けながら</b> リーフレットに表現している。
1	調査を通して分かった非常持ち出しグッズや避難所、安全な避難経路について、リーフレットに表現している。

5